

令和元年度第1回亀山市総合教育会議 会議録

日 時 令和元年9月30日(月) 午後1時30分から午後2時45分まで

場 所 市役所本庁舎3階 理事者控室

出席者

(市長)

櫻井 義之

(教育委員会)

教育長

教育長職務代理者

委員

委員

委員

服部 裕

宮村 由久

大萱 宗靖

太田 淳子

若林 喜美代

(事務局)

総合政策部長

産業建設部長

総合政策部次長

産業建設部次長

総合政策部政策課長

教育委員会事務局教育部長

教育委員会事務局参事兼生涯学習課長

教育委員会事務局生涯学習課図書館長

山本 伸治

大澤 哲也

落合 浩

亀淵 輝男

笠井 武洋

草川 吉次

亀山 隆

井上 香代子

議 事

- 1 市長挨拶
- 2 図書館整備事業の進捗状況について

開会

事務局

皆さん、こんにちは。
本日はご多忙中、ご出席を賜りまして、ありがとうございます。
ただいまから、令和元年度第1回の亀山市総合教育会議を開催させていただきます。
はじめに、本日の会議でございますが、亀山市総合教育会議要綱第6条の規定により「公開」会議となっておりますので、予めご了承くださいますようお願いいたします。

1. 市長挨拶

事務局

それでは、事項書に従いまして、進めさせていただきたいと思
います。
まず、市長、ご挨拶をよろしく願います。

市長

皆さん、こんにちは。本日は、大変お忙しい中、亀山市総合教育
会議にご出席いただきありがとうございます。また、教育長はじめ
教育委員の皆様には、平素から教育行政の第一線で、大変ご尽力
いただいております、厚く御礼申し上げる次第でございます。

さて、本日の総合教育会議につきましては、新図書館の整備に当
たりまして、各フロアのコンセプトやレイアウト、更には機能やデ
ザインにつきまして、教育委員会でこれまで積み上げてきていた
だき、大変感謝申し上げます。現段階における基本的な考
え方を教育委員会からご報告いただき、よりよい公共施設とし
ての新図書館の実現に向けまして、より有意義な協議を行ってま
いりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ご案内のとおり、新図書館を含む亀山駅周辺整備事業につきま
して、現在、市街地再開発組合において、その事業推進に当たり、
新図書館を含む再開発ビルや駅前広場の実施設計をはじめ、権
利変換計画に向けた建物評価が進められているところでございま
す。また、再開発事業と併せまして、市におきましても、周辺道
路の整備も着実に進めてきているところでございます。

更に、先週の金曜日には、再開発組合におきまして、臨時の総
会が持たれ、再開発ビルの保留床について、私どもの図書館が
入る保留床を確保するわけですが、正式に本市が再開発組合の
メンバーとして入ることの承認をいただいたところでありま
して、次のステージへ入っていく局面であろうと考えておる
ところでございます。

つきましては、今後も、この事業を推進する上におきまして
は、新図書館の整備や管理・運営に関しましても、様々な協
議・調整が必要となってまいりますので、引き続きまして、
市長部局、教育委

員会部局が連絡を密にいたしまして、ぜひ英知を結集して、その具現化・実現に向けて進めてまいらなければならないと改めて考えておりますので、どうぞ今後ともよろしくようお願い申し上げます、有意義な会議となることを祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

よろしくようお願い申し上げます。

2. 図書館整備事業の進捗状況について

事務局

それでは続きまして、「事項2 図書館整備事業の進捗状況について」でございます。

この事項につきましては、教育委員会から資料が提出されておりますので、教育委員会事務局より、説明をお願いいたします。

教育委員会事務局

(資料に沿って説明)

・資料 図書館整備の基本的な考え方(案)について

事務局

ありがとうございます。

ただいま「図書館整備の基本的な考え方(案)」について、教育委員会事務局より説明をいただきましたが、新図書館の整備につきましては、平成28年10月の本総合教育会議におきまして、「今後の整備の方向性」についてご報告いただき、その後、教育委員会におきまして、平成29年度に「図書館整備基本構想」を、また、平成30年度には「図書館整備基本計画」を策定いただいております。

現在は、「図書館整備基本計画」を踏まえ、再開発ビルの実施設計が進められているところではございますが、本日は、あくまでも基本設計段階のプランをベースとして、新図書館のレイアウトやデザインなどの基本的な考え方についてご説明いただいたところでございます。

それでは、まず、教育委員の皆様から、ただいまご説明いただきました内容について、ご意見などがございましたら、お願いをいたしたいと思っております。どなたからでも結構ですので、よろしくお願いいたします。

委員

学習スペースにおいて仕切られた場所がないと思います。よく受験勉強などを行っている子供たちがいると思いますが、その子供たちが学習できるような場所があるのでしょうか。

また、2階の郷土資料コーナーで亀山市ゆかりの文化人を紹介するとのことですが、児童・親子エリアのある2階よりは3階エリアに需要があるのではないかと思います。20代の人はターゲットではないのではと感じました。

事務局

資料の図面を見ていただきたいと思います。現時点で検討している部分もございますので、最終の形ではありませんが、学習スペースにつきましては、3階に仕切られた空間を設けてまいりたいと考えております。また、2階の閲覧部分にも設置することが可能だと考えておりますので、一定の学習スペースを確保していきたいと考えているところでございます。

それから、郷土資料コーナーの取り扱いについてですが、この場所につきましては、フロア内のつながりというよりは、1階にもある郷土資料コーナーとの空間統一を考えているところでございます。1階と2階を合わせて、市民の皆さんに親しんだ空間にしたいと考えております。また、郷土資料コーナーですので、亀山市全体について知ることができるようなコーナーにしていきたいと考えております。今後とも1階との一体性も含めて考えてまいりたいと思います。

事務局

現時点では、基本的な考え方（案）でございますので、確定ということではございません。ご意見も参考にさせていただきながら、今後進めていくということでご理解いただきたいと思います。

他にいかがでしょうか。

委員

私は、学習スペースを仕切らないといけないと意見したのではなく、学習スペースはどの辺りになるのかということをお尋ねしました。

郷土資料コーナーは1階の階段から上がってきたら目に付くようなものなのでしょうか。

事務局

広い空間の中で一体的な空間形成を図っていきたいと考えておりますので、利用者の動線の中に織り込んでいく予定でございます。

委員

例えば、1階の階段から上がっていけば、2階のどこに行くのでしょうか。1階の階段はどちら側から上がって行くのでしょうか。

事務局

1階の階段につきましては、ロビー側のほうから上がっていくこととなります。そして、2階に上がりますと、郷土資料コーナー側に着きます。また、中央右側にあります階段は、大きなつづら折りで上がっていくような階段となります。

委員

学習スペースを仕切る必要はないとの発言がありましたが、子どもたちも小学校、中学校、高校と学習スペースで勉強をしてきました。受験真ただ中で、現在も図書館を活用させていただいているところですが、やはりスペースが狭くて、勉強する空間はすごく重要であると思っています。多目的スペースがとても大きな空間にな

っており、イベントをされることもあるかと思います。すべてのスペースを使用することもないかもしれませんが、例えば半分くらいを使用する場合には、仕切りをしても音が漏れたりすると思うので、どのように対応してよいかはわかりませんが、半分は多目的スペースとして、半分は学習室として活用し、少しでも駅で待つ子どもたちが図書館を利用して勉強する場所があるといいなと思っています。

1階のフロアの閲覧席数が125席と記載がありますが、休憩コーナーや多目的コーナーで使用する部分も多いと思いますので、この部分に学習室がある方がよいのかなと思います。

また、私たちは図書館の視察にも行かせていただいております。1階と2階に関しては、視察先でのよいところをたくさん取り入れられていると思うのですが、3階については、少し物足りないというか、席は90席あるのですが、押し込んでいるイメージであり、スペースだけを見ると想像が付きません。1階や2階に比べ、窮屈にならないのかなという印象を受けます。もう少し具体的なものがわかるといいなと思うのですが、これ以外でわかる部分があれば教えていただけますか。

事務局

現時点は、3階は蔵書の核になっているスペースとしております。先ほど申し上げましたとおり、窮屈感を持たれないような配架や書架のスペースの工夫が必要であるとともに、どのような動線を想定していくのかということにつきまして、この資料にはご提示をさせていただいておりますが、検討を積み重ねてまいりたいと考えております。

委員

資料なども早く見せていただけるとありがたいです。資料を見させていただける機会がないので、できる限り早く、また、いろいろな情報をいただかないと意見として発言できない部分もありますので、そうしていただきたいと思います。よろしくお願いします。

委員

様々なことを考えていただいていると思うのですが、図面では階段は建物に2か所あると思います。非常階段はどのようになっているのか教えていただけますか。

事務局

非常階段がどのようになっているかという質問でございますけれども、まず、非常階段がこの建物に何か所いるかという問題でございます。基本的には2方向避難というのが原則論でございます。その2方向というのは、今2か所に配置されている階段が非常用を兼ねているということでございます。基本的には、どちらかの階段の真ん中で火事起きた場合に、どちらかの階段を利用し、降りるということになります。階段は建物内に設定されておりますが、非常階段を兼ねているということでございます。

委員	<p>小学校などの建物は外側にも階段が設置されていますが、設置しなくてよいということですか。</p>
事務局	<p>学校などは、基本的に非常に横長の建物でありまして、避難については、具体的にルールが決まっております。25mや50mごとに避難経路があるかどうかなどの規程の中では、この建物内2か所の階段で十分足りるということでございます。</p>
教育長職務代理者	<p>平成28年にこの総合教育会議ではじめて図書館のことについて取り上げ、その後3回協議をしましてまいりました。議事録も確認させていただきましたが、その中で、市長も申し上げられましたけれども、場所、面積、機能そして環境について協議を進めてきたかと思えます。駅前に整備される中で、場所については、現在の図書館の位置の方が良好な環境であるという思いもあるのですが、駅前の再開発の場所がよいと、この場で共通認識を持ったところです。</p> <p>面積や機能については、教育委員会では基本的に面積は3,000㎡とのお話をし、機能は今回示していただいているようなベースになるということをお話してございますが、市長さんも共通認識としてOKということによろしいでしょうか。それとも、いやいやそれは教育委員会が考えていることであって、まだ決定していないということであれば教えていただきたいと思えます。</p>
市長	<p>共通の認識を持たせていただき、このような方向でよいと考えておりますし、設計の詳細につきましては、これから詰めていくところだと思えますが、面積としては3000㎡をベースで考えているということによいと思えます。</p>
教育長職務代理者	<p>ありがとうございます。今の市長さんの言葉で非常に安心したんですけれども、今、事務局のほうから説明がありましたような、基本設計や機能面についても色々と多方にわたり検討しております。いよいよ来年度の予算編成が始まっている時期かと思えますが、我々も一緒になって考えていきたいと思えます。亀山らしい、シックプライドの醸成につながるようなそういったものにしていきたいなと思えます。私も期待しております。かつて基本計画作成中にも議論しておりましたが、図書館と言えば「知の拠点」であるという話がございました。しかし、先日、新聞を読んでおりましたら、図書館はそれを超える可能性の宝庫である、知的な好奇心を満たすだけのものではなく、もっと広い可能性のあるものなんだと書かれておりました。かつて私は、「超図書館」という言葉を使いましたが、まさに可能性の宝庫であり、図書館というのはいろんなことができる施設だと思いますので、1階のロビーあたりで展示などの活動を行っていただき、図書館で本を借りるだけの機能だけでなく、いろんなことができるように、関係者の皆さんで、知恵を出していければと思います。</p>

そのような中で、場所や面積のこともありますが、環境ということも重要でございます。現図書館も文教地区として充実しており、捨てがたいのですが、新しくできる新図書館が駅前再開発の一環として設置されることとなります。現在、図書館のデザインコンセプト等を検討いただいているようでありまして、その中の機能については事務局から説明があったとおり、いろんなことを考えていただきたいと思います。環境については、図書館だけの環境ではなしに、図書館を含めた駅前の再開発の環境についても十分ご配慮をいただきたいと思います。駅前を通ったら、図書館だけがボンと建っているようなことでは、ちょっと工夫がないのではないかと思いますので、そこを含めた駅前広場、駅前のまちづくりという視点で取り組んでいかなければいけないと思います。これは、2、3年の取り組みだけでできるものでもないと思いますので、とりあえずは、今の工期の期間の取り組みとなると思いますが、長いスパンで何十年も耐えられるような、図書館を核としたまちづくりができるように、亀山らしい駅前のまちづくりができるようになってほしいと期待しております。長い先の要望を広い視点でみていただければと思います。

もう一つ申し上げますと、知人等に会うと、新図書館の話をするのですが、図書館の移転については広報等を通じて市民への周知がなされていると思いますが、駅前に図書館ができることについてどのように言われているかという、積極的賛成という方は少ないような気がします。それはなぜかと考えますと、駅前再開発の情報が伝わってない、認識がされてないからだろうと思います。駅前再開発の話がどんどん進んでいけば、新しい図書館の魅力や先ほど申し上げましたような可能性の宝庫となり、それが新しい図書館なんだということをごんごんPRや啓発をしていけば、もっと市民の皆さん方にも認識を深めていただけるのだろうと思いますので、時期がきましたら、積極的に情報を発信していただければと思います。

事務局

ありがとうございます。先ほど市長からもございましたように、総合教育会議の中で確認させていただきましたことは、基本そのような形で進めさせていただきたいと考えておりますし、場所、面積、機能、環境という形でおっしゃっていただきましたが、場所についてはお示しさせていただいたとおりで、面積については3,000㎡を確保し、機能については、それぞれ基本計画の中でしっかりと機能を固める取り組みを進めていただいております。

また、ご要望いただいた2点につきましても、まず、図書館を核とした駅前のまちづくりにつきましても、総合計画の1つのコンセプトとして進めておりますので、総合計画を進捗する中で、しっかりと取り組んでまいります。また、今、おっしゃられた情報提供、市民への周知につきましても、しっかりと心掛けていきたいと考えております。

全体の中で、各教育委員からご意見いただきましたが、それ以外

にもご意見ありましたら、よろしく願いいたします。

教育長

委員から情報発信のことについて意見がありましたが、私も教育委員会として様々な質問を問われることがあります。基本構想、基本計画を策定する際には、臨時教育委員会を含め、回を重ねて作り上げてきたのですが、設計段階となり、止まったとまでは言いませんが、先日、設計に関して、1度担当参事から少し説明があったという状況であります。再開発組合が行う事業であるとの説明を受けますが、やはり図書館に関しては、教育委員会が基本構想、基本計画と検討をしてきた経緯がありますので、この思いを実現させてほしいと思いますし、説明をいただくことは筋だろうと思いますので、できる限りオープンにさせていただきたいと強く思います。オープンな議論、協議を積み重ねていきたいと強く思っております。

それで、ここで私自身がいくつか質問をしたいと思います。多目的スペースは何席あるのでしょうか。

事務局

だいたい60席程度と想定しております。

教育長

そうなりますと、1階の閲覧スペースは125席ということで、半分程度はこの部分になるということですか。

委員からも意見がありましたが、多目的スペースで集会か何かが行われると、通常は部屋を区切るようなことにおかないと占領されてしまうと思いますので、かつて階段回りに閲覧席を設けるなどの意見も出たと思いますし、もっと工夫がされた閲覧席があったほうがよいと要望いたします。

そして、1階の郷土資料コーナーもよいかと思いますが、2階に上がると、再度、郷土資料コーナーがあり、また3階に上がると地域資料コーナー、展示エリアコーナーがあります。基本計画で強調されていたブース、DVDコーナーなどのICTコーナーが通路にあり、少ないような印象があります。もっとスペースを確保する必要があるのではないかと思います。

また、2階の郷土資料コーナーにつきましては、事務局からは亀山市のゆかりの文化人を特集したコーナーを設置するとの説明がありましたが、この文化人をどれだけ市民が認知しているか、このコーナーが常設でされるのであれば、数年後にはマンネリ化しないかなと思います。例えば、半年交代で変えていくとか、いったん決めて常設化していくとマンネリ化を招くのではないかと心配してしまいます。

最後に、エレベーターを使って地下から上がると思います。また階段で上がるという場合もあると思いますが、この部分にはBDSの設置がありません。また、商業施設との行き来が発生してくると思うのですが、北側の出入口を利用するのでしょうか。この商業施設との動線でかなり出入口の利用状況は変わってくると思います。

また、2階にはテラスがあり、商業施設があります。テラスから商業施設に行けないと思いますが、分断されているのは不自然だと思います。利用者の動線によりBDSをどこにつけるのかは大きく変わる問題だと思いますので、検討していくべきだと思います。

事務局

まず、今後とも詳細な部分については、総合教育会議を含めて、詳細設計を進めてまいりますので、積極的な情報提供に努めてまいりたいと思います。

あと、郷土資料コーナーの問題や閲覧席の増加、ICTを活用したAVブース、BDSが機能的に配置されているのかという部分につきましては、教育委員会事務局よりお答えさせていただきたいと思います。

事務局

まず、郷土資料コーナーにつきましては、具体的な展示の内容でありますとか、運用の仕方などについては、先ほど教育長が申されましたとおり、今後もっと積み上げていく必要があるのではないかと思います。亀山市のゆかりの方を紹介していくことは、当然必要であると思いますし、その方々が執筆した書籍などについても配架していくことになると思います。そして、郷土資料ということになりますので、紹介の方法等について考える中で、どのような運用をしていくかの詳細を積み上げていくことになろうと思います。

それから、BDS等につきましても、今設計の詳細を詰めていく中で、動線が明らかになってまいりますので、動線に沿って、どこにどういった形で配置していくのかということも積み上げていくことになろうかと思えます。これは、先ほどの商業施設との関係もございしますので、こちらについても議論を積み上げていきたいと思えます。

教育長

ICTの関係で、DVDなどのAVブースが大変窮屈なので、再考いただきたいと思えます。

事務局

今、教育委員及び教育長からご意見をいただきました。今、いただいた意見を含め、感じているところも含めて、市長からご意見いただければと思えます。

市長

まずは、今、それぞれの立場からいくつかの感想やご意見をいただきました。いただいた案件につきましては、積み上げていく過程の情報の共有やその反映など、現時点でそれぞれのプロセスがあった中で、それらに配慮して進めていくべきなのかなと思えます。それは、詳細設計に入っていく過程で当然、担当者の中でも検討いただいているのだらうと思えますが、まずは、教育委員会の中でも情報共有、それから教育委員会部局と市長部局の情報共有ということをしつかり進めていく必要があるのではないかと感じてございます。

ご意見いただいた中で、同様の感覚を持たせていただくものもあり、例えば、今の学習などのパーソナルな少人数の研究を行うにあたってはある程度の空間が整備されるべきでしょうし、AVの話も今後どうしていくのかということも重要なことだろうと思います。また、外との関係や景観の調和という意味では、長期的に考えていく必要があるだろうと思います。2ブロックの駅前部分との共生につきましても、近々のテーマでもあらうと思いますので、設計と併せて建屋のデザインについても検討しておるところでございます。それにつきましても十分配慮されるべきだと思ひますし、そのようい進めていきたいと思ひます。

もう1点、重要なところでございますが、ハードウェアの設計だけではなく、新しい図書館の機能につきましてもソフトウェア、ヒューマンウェアの管理運営体制が非常に重要であると思ひております。この実現には、従来の図書館のマンパワーを越えていくような、多様なマンパワーに結集いただく必要があると思ひております。管理運営形態の検討をいただひている中で、意見をいただひておりますが、その運営が持続可能なものでなければなりませんし、多様な機能を担うスキルを持たれた人材をどのように考えていくのは、どのソフトウェア、ヒューマンウェアの監理運営体制がベストなのかを議論した上で結論を出すとともに、連動するような全体の調和が必要になってこようかと思ひます。これは、教育委員会と市長部局との体制の部分もあります。真摯に受け止めて、検討を行ひますが、あまり悠長に言っておれないと思ひます。ある一定の段階で結論を出し、また次の段階へ進んでいければと思ひます。

図書館の整備につきましても、これまで教育委員会ははじめ、推進委員会の皆さん、多様な立場から様々なご意見をいただき、現時点ではこのような形になっているのですが、まだまだ次の段階へ進めていくことが重要であります。したがって、冒頭申し上げましたような駅前再開発事業組合の重要な作業を進める中で、市としての組合の図書館部分のこのエリアについては、公共施設として整備していくという立場で取り組んでおります。当然、その立場から再開発事業の組合に参画してござひます。よいものを作り上げたいという思ひで取り組んでおり、次の段階に入っていきたいと思ひております。

いずれにいたしましても、ご意見とその前提となる情報の共有やその展開に一層の質の高いものを積み上げて、前へ進めてまいりたいと思ひますので、今後ともよろしくお願ひいたしたいと思ひます。

教育長職務代理者

スケジュール的にはどのような感じでしょうか。予定どおり進んでいるのでしょうか。

事務局

再開発につきましても、市長から申し上げましたとおり、少し遅

れが生じてきているところでございます。しかしながら、令和2年、3年に工事を行っていくことになってございますので、現段階のスケジュールといたしましては、令和3年度中には、完成したいと考えております。

事務局

現時点では、実施設計を行っているところでございまして、これらについては、今進めている駅前再開発事業を中心に組み立ててまいります。ただ、市長からもお話いただきました通り、管理運営の方法などにつきましては、年度内に方向を固めたいと考えております。

事務局

今、市長からまとめていただきましたとおり、大きな方向として、教育委員会部局と市長部局との情報連携について、十分な情報発信をしてまいりたいと考えております。また、2点目としては図書館だけではなく駅前全体としての調和のとれた駅前整備を進めていくということで、管理運営体制を詰めていく大きな課題があるということであったと思います。ここには、学習スペースや郷土資料コーナー、またAVブースなど実施設計の中でこれについては議論をしていくべきと感じておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

閉会

市長

大変ありがとうございました。今後も進めてまいります。市長部局との連携を行いながら、すばらしい、シビックプライドとなる新しい亀山の図書館になりますよう今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。